



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年3月2日 第56号

発行者：校長 伊藤 俊



## —平成28年度 卒業式式辞—

本日、卒業されるみなさん。おめでとうございます。ご来賓のみなさん及び教職員一同とともに心よりお祝い申し上げます。あわせて、本日の卒業式までご支援・ご協力いただいた、ご家族の皆様・関係者の皆様へこころより感謝申し上げます。

昭和60年4月に石巻西高等学校が創設して、昭和63年に第1回生が卒業して以来、この30年間に約6500名の卒業生が各方面で活躍しています。これからはその卒業生の一員として、一層の活躍を期待しております。

この3年間を振り返った時に、時代が大きく変わろうとしていることがわかります。イギリスがEUを離脱し、アメリカの政権交代、我が国は隣国との国際的な摩擦も解消していません。国内でも、各地で自然災害が頻発しています。このような混沌とした時代だからこそ、力強く自分の人生を送ってほしいと願っています。

本校を卒業し、様々な進路に向かって旅立っていく君たちに一言アドバイスを送りたいと考えています。これから、大学、専門学校、職場など様々な場面で多くの人々と出会い、多くの解決しなければならぬ課題に取り組むこととなります。その行動の原動力となるのが「やる気」・モチベーションです。「やる気」・モチベーションが低ければ、努力も小さくなる、努力が小さいと、結果も小さくなる。結果が小さいと喜びも小さくなります。解決すべき課題も十分な結果が出なければ、満足した、充実した人生が送れないのではないのでしょうか。

「やる気」・モチベーションを高めるには、自分が主人公であるという、主体的な気持ちを持つことに尽きると思います。何かに取り組む時、常に自分が主人公であるという前向きな気持ちをこれからも忘れないでいただきたい。

大学や専門学校の授業「受けさせられている」のではなく、授業料を払って「自分が受けているんだ」という気持ち。職場の上司に「これやって」と言われても「この仕事を任せられているんだ、責任を持たせられているんだ」というあくまで自分が主人公であるという気持ちが大切です。主体的な気持ちを持てば、自ら目標を決め、段取りを行い、さらに工夫をしながら努力するはず。達成すれば喜びも大きくなり、さらに次のステップに進むことになります。

一方、自分の意思を持たないで、授業を「受けさせられている」、仕事は「会社からの命令だから」という気持ちでは満足な結果も生まれないでしょう。

少しの勇気を持って、何事に取り組む時も「自分が主人公なんだ」というチョットした意識改革をすることは、君たちのこれからの人生に大きな武器となるはず。です。



「世界一清潔な空港の清掃人」という本のタイトルを耳にした人もいるかもしれません。羽田空港はイギリスの空港サービスリサーチ会社が毎年実施する国際空港評価で2年連続世界一清潔な空港に認定されています。その羽田空港の全職種で年間優秀賞をとった、異彩を放つのが日本一の清掃員と言われる、新津春子さんです。中国瀋陽生まれ、17歳で日本にやってきた残留孤児2世の方です。日本でも中国でもいじめを受け、いかにして厳しい境遇を乗り越え、いかにして日本一の称号を持つプロの清掃員となったかを紹介した本です。

80種類の洗剤を駆使し、普通なら見逃しそうな汚れを数十メートル離れたところから見つけ、徹底的に磨きあげる。「赤ちゃんがハイハイしても大丈夫な」床を目指しています。

新津さんは言います「日本来て26年、言葉ができなくても清掃の仕事はできるし、お客様が喜んでくれるから」「清掃の仕事はきついし、3Kと言われまだ社会的地位も低いと思います。でも私は気にしません。この仕事が好きです」と話しています。

彼女のプロ意識と仕事に対するモチベーションは一体どこから生まれてくるのでしょうか。彼女はどのように語っています。「私が主役であるという自分の思いがないと、心を込めた仕事はできないと思います」

まさに、彼女を支えていたのは「自分が主人公である」という主体的な気持であると思います。初めは誰からも認められなかったが、20年以上黙々と空港の清掃員として働き続け、今では清掃のプロフェッショナルと呼ばれて、50人の部下を率いている新津さん、すばらしい生き方ではないでしょうか。



本校の校訓に「進取」があります。校歌1番に「ここはさこそ、進取の気鋭」の歌詞を入学以来何十回も歌ってきたと思います。進取とは「自ら困難なことに取り組むこと」であります。まさに自ら行動を起こす、自分が主人公になる主体的な生き方であります。西高の3年間で、皆さんはこの校歌を歌いながら、主体的な生き方を身に付けてきました。皆さんの前には、すばらしい未来が待ち受けているはずですが、同時に越えなければならないハードルもあるはずですが、そんな時に、自分が主人公であるという主体的気持を持つことが大きな力になるはずですが、自信を持って自分の夢の実現に取り組んでください。

さて、私たち教職員は、皆さんの人生の大切な3年間に関わりを持てたことを「誇り」に思っています。卒業生の皆さん一人一人を心から「誇り」に思っています。

西高が地域から支持され、中学生が「入りたい高校」であるためには卒業生の皆さんが社会で思う存分活躍いただくことです。西高の真価は、卒業生諸君一人一人の人生にあります。皆さんには、自分が主人公になる主体的な生き方で、それぞれの立場で自らの夢を大きく実現されるとともに、その夢の実現を通して大いに社会に貢献されることを期待しています。

皆さんのこれからの輝かしい人生を祈りつつ、卒業に際しての心からの祝辞といたします。おめでとうございます。

平成29年3月1日  
石巻西高等学校校長 伊藤 俊

